田中将 新天地で手応え

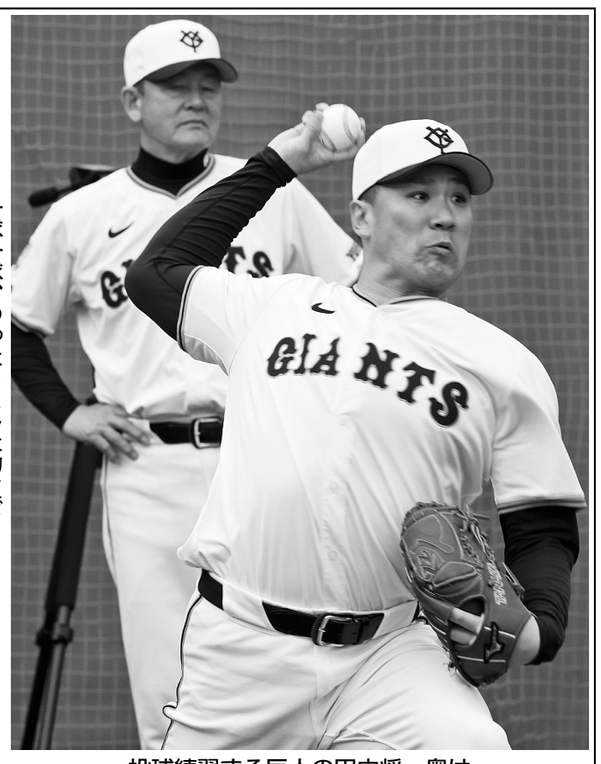
巨人 名伯楽と進む再起の道

一球一球、ゆったりとした動きで時間をかけて投げ込む。第1クール最終日。巨人の田中将がブルペンに入り、捕手をベースの前に座らせて46球。新天地で再起を目指し、フォームを全面的に見直している。

キャンプ初日から多彩な練習を試した。マウンドの傾斜を逆向きに使ってネットスロー、ボールを右手で2個握って投球。本来の体重移動や軸足の使い方などを取り戻すためで、「いろんな手応えを感じている。体の使い方を勉強している感じで」と充実感をにじませる。

傍らで指導するのは、不振だった菅野（現米大リーグ、オリオールズ）を昨季の復活に導いた久保巡回投手コーチ。「ボールを前でたたく（ように投げる）。体の回転軸が右側に寄ろうとしているので、それを立て直して縦に。そうすると昔のような形に戻っていく」。理想は、楽天時代の2013年のフォームだ。

近年にない練習量で疲労も感じているが、田中将の表情は明るい。「大丈夫だからこそやることができている。想定より早くいろんなことが進んでいると思う」。名伯楽と二人三脚で前へ進む。（宮崎）



投球練習する巨人の田中将。奥は久保コーチ＝４日、宮崎市

充実のキャンプ 調整上々

森下 開幕投手へアピール

【広島】森下が今キャンプ2度目のブルペン入り。球の回転数などを測定する機器を使用し、そのデータを確認しながら、捕手を座らせて直球のみを35球。最速は142キロを計測し、「徐々に上げていけたら」と先を見据えた。

キャンプ初日からブルペンに入り、プロ6年目で初となる開幕投手の座をつかむため、アピールを続けている。「今のところ思ったように投げられている。しっかりと打者に対して投げていけるよう、準備したい」と意欲的に話した。（日南）

ブルペンで投球練習をする▲広島の森下＝4日、宮崎県日南市

東 スライダーにこだわる

【DeNA】東がキャンプ4日目で初めてブルペンで投げた。こだわったのはスライダー。「空振りを取りたいというのと、打者の目線をうまく外したい」。その他の球種を生かすため、昨年よりも変化の大きい軌道で打者を惑わせることを目指す。

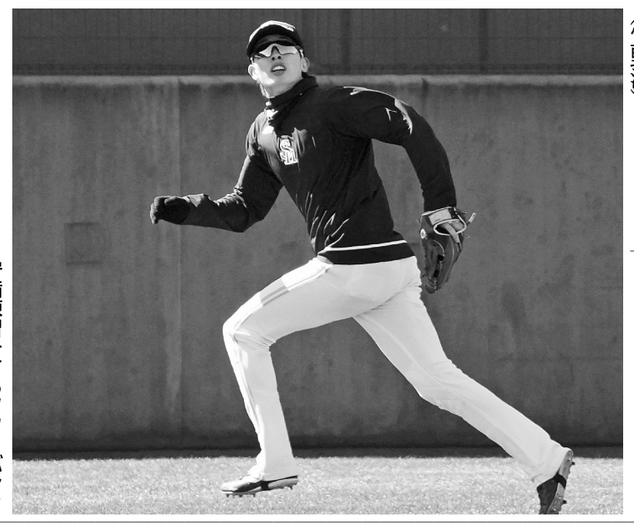
計測では50センチを超える曲がり幅だったという。脳裏に浮かぶのは16勝を挙げ、最多勝と最高勝率のタイトルを取った2023年のスライダー。2年前とは体の状態が違うことを自覚しており、「過去に戻るんじゃなくて、進化した状態で投げることができたら」とイメージを膨らませている。（宜野湾）

投球練習するDeNAの東＝４日、沖縄県宜野湾市

周東 膝の回復順調

【ソフトバンク】昨秋に左膝の手術を受けた周東が、順調な回復ぶりを見せている。術後初めてグラウンドで中堅守備の動きを確認。打撃練習も通常通りにこなした。「（状態は）８割くらい。自分が思ったより動けている」とうなずいた。

本来は福岡県内の球団施設でリハビリを進める予定だったが、「選手会長なのだから」（小久保監督）という理由で1軍に同行している。実戦練習が始まる15日からチーム練習に合流する見込みで、「（競争相手に）良い選手が多いので、負けないように頑張りたい」と意気込んだ。（宮崎）


守備練習をするソフトバンクの周東＝4日、宮崎市

大きなやつに負けへん

吉田さん死去　努力と哲学の「牛若丸」

《評伝》吉田さんには、マージャンパイを「足でかき交ぜる」というわさがあった。負けが込むと悔しそうに、足を使うのだと。たちの悪い冗談だと思っていたが、本当だった。

1985年、阪神21年ぶり優勝の祝賀会で、上機嫌の吉田さんが同じテーブルの記者たちに話し掛けた。「私は若い頃、皆さんとようマージャンしましたなあ。負けてくると足でパイをかき回したもんです。あの時はすんまへんでしたな」

無礼には違いないが、勝負にこだわる男のすさまじい負けじ魂も見て取れる。うわさには後段があった。

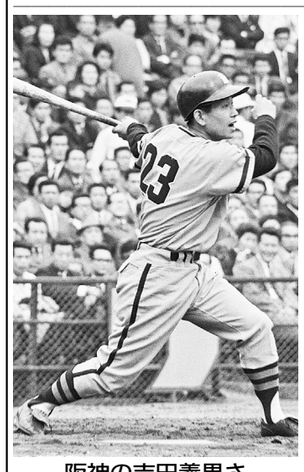
「足で交ぜるのを見た者は闘志がなえた。最後に勝つのはいつも吉田さんだった」

身長は当時でも小柄な部類に入る160センチ台。人一倍の負けん気の強さがなければ、プロの世界で大男たちと戦えなかっただろう。妻の篤子さんによると「ナイターから帰っても、食事はそっちのけで素振りをしていた」。実働17年で1864安打。400勝投手の金田正一（国鉄、巨人）に「あいつとはやりたくなかった」と言わせた。

打撃にもまして万人をうならせたのは、「史上最高の遊撃手」と言われた華麗な守備。難しいゴロをたやすくさばき、矢のような速さで一塁へ。どんな体勢で捕っても、送球体勢に入った。身のこなしは「牛若丸」に例えられ、三宅秀史と組む三遊間は鉄壁といわれた。「若い時は四六時中ボールを手にしていた。いかに早くボールを離すか、そればかり考えていた」と吉田さん。努力のたまものだった。

阪神の監督を3回務め、日本一にもなった。「選手一丸」「挑戦」という言葉を、愚直なまでに繰り返してチームを束ねた。気になる選手には手紙を書いた。「親を大事に」「感謝の心を忘れるな」。心がこもっていた。

野球がうまくなりたい、大きなやつに負けへんで―。生涯を精いっぱい生き抜いた吉田さんの靴は、いつも驚くほどきれいに磨かれていた。（時事通信社・安東茂光）


阪神の吉田義男さんのバッティング＝1968年

冬季アジア大会7日開幕

中国・ハルビンで熱戦

【ハルビン（中国）時事】ミラノ・コルティナ五輪開幕まで1年に迫った2月、もう一つの冬季競技の熱戦が行われる。7日に開幕する冬季アジア大会。極寒の中国・ハルビンに、過去最多となる34カ国・地域の選手たちが集う。

冬季アジア大会は2017年の札幌大会以来8年ぶり9回目の開催。日本の有力選手の活躍が期待されるフィギュアスケートやスノーボード、来年の五輪で初実施される山岳スキーなど、6競技64種目で14日まで争われる。日本は国外開催では最大規模となる男女約150人の選手を派遣。中国や韓国、カザフスタンなどの強豪国と競い合い、五輪1年前の時点での力を把握する重要な機会として大会を位置付ける。

ワールドカップなどを優先してトップ選手が参加しない競技もあり、10代や20代前半の若手の出場も多い。本部役員を務める日本オリンピック委員会の小林享強化部長は「ミラノ・コルティナや、30年五輪にステップアップしていくことを期待している」。アジアでの勝負を足掛かりに、世界へ飛躍する選手の台頭を望んだ。

アイホ日本が大勝

【ハルビン（中国）時事】冬季アジア大会は4日、中国・ハルビンで7日の開幕に先立ち一部競技が行われ、アイスホッケー男子の日本は1次リーグA組初戦で台湾に15―0で大勝した。先制点を含む2得点を挙げたFW人里茂樹（東北）は「初戦の入りは難しかったが、自分が最初に点数を取れて個人的には良かった」と振り返った。韓国やカザフスタンが強力なライバルと見ており、「すごく大きな大会なので、しっかり勝ち切れるように頑張ろう、という雰囲気はある」と語った。

カーリングの混合ダブルスは小穴桃里、青木豪組が1次リーグA組に登場。タイを12―2、モンゴルを19―0でそれぞれ下し、連勝発進した。

ロコ初白星

カーリング

来年のミラノ・コルティナ冬季五輪日本代表候補の座を懸けたカーリングの日本選手権は4日、横浜BUNTAIで1次リーグが行われ、女子で北京五輪銀メダルのロコ・ソラーレは、札幌国際大に10―3で快勝し、1勝1敗とした。

前回覇者のSC軽井沢クは東京都協会に8―6で競り勝って1勝1敗。中部電力は大勝し、2勝1敗とした。

男子で2連覇が懸かるコンサドーレは、チーム京都CAに10―3で大勝して開幕2連勝。

前回準優勝のSC軽井沢クはロコ・ソラーレに6―4で競り勝ち、2勝1敗とした。

貫禄勝ちで笑顔

▽…2日の初戦で黒星を喫した女子のロコ・ソラーレが貫禄勝ちした。

開幕2連勝で勢いに乗っていた札幌国際大から、不利な先攻の第1エンドに得点。続く第2エンドはサードの吉田知が相手のストーンをはじき出し、投げたストーンを当てられにくい位置に止める好ショットを連続で決めた。一挙3点で序盤に大量リードを奪った。

第6エンドにも4点を入れ、相手が負けを認める「コンシード」を宣言。初白星を挙げたメンバーは笑顔で観客に手を振った。

国外サッカー

バイエルンの福井 アロウカに完全移籍

サッカーのドイツ1部リーグ、バイエルン・ミュンヘンは3日、MF福井太智（20）が期限付きで移籍していたポルトガル1部のアロウカに完全移籍すると発表した。

福井は2023年1月に当時J1の鳥栖からバイエルンに入り、主に下部チームでプレー。昨年初めに期限付きでポルトガル1部のポルティモネンセに移籍し、夏にアロウカへ移っていた。（時事）

ダニエル1回戦敗退

男子テニス

男子テニスのダラス・オープンは3日、米テキサス州ダラスで行われ、シングルス1回戦でダニエル太郎（エイブル）はフランシス・ティアフォー（米国）に1―6、6―3、4―6で敗れた。（時事）

きょうのスポーツ

◇総合＝国民スポーツ大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会最終日（9時、岡山国際スケートリンクほか）

◇バスケットボール＝天皇杯全日本選手権準決勝　広島×A東京、琉球×三遠（19時5分、広島・エフピコアリーナふくやまほか）

◇カーリング＝日本選手権第4日（9時、横浜BUNTAI）

レイアウト・渡邊　唯人

お世話になった方々へ、広告は『偲ぶ心』を伝えます。

おくやみ広告は釧路新聞。

通常2段組サイズ

夫釧新 太郎儀 入院加療中のところ十二月四日午前六時三十五分、行年九十七歳をもって往生の素懷を遂げました。ここに生前のご厚情を深謝し謹んでお知らせ申しあげます。おって葬儀は左記の通り執り行います。
記
一、通夜　□月□□日(□)午後六時
一、葬儀　□月□□日(□)午前九時(出棺一時)
一、式場　□□□□斎場(釧路市□□□□□□□□□□□□)
平成三十年□月□日　釧路市黒金町七丁目三番
喪主　釧新二郎
施主　釧新三郎
長男　□□□□
義妹　□□□□
義弟　□□□□
孫　□□□□
親戚代表　□□□□
友人代表　□□□□
T(22)1113

釧路新聞は1段組サイズ（大きさは原寸です）

夫釧新 太郎儀 入院加療中のところ十二月四日午前六時三十五分、行年九十七歳をもって往生の素懷を遂げました。ここに生前のご厚情を深謝し謹んでお知らせ申しあげます。おって葬儀は左記の通り執り行います。
記
一、通夜　□月□□日(□)午後六時
一、葬儀　□月□□日(□)午前九時(出棺一時)
一、式場　□□□□斎場(釧路市□□□□□□□□□□□□)
平成三十年□月□日　釧路市黒金町七丁目三番
喪主　釧新二郎
施主　釧新三郎
長男　□□□□
義妹　□□□□
義弟　□□□□
孫　□□□□
親戚代表　□□□□
友人代表　□□□□
T(22)1113

2段組サイズを1段組にし、文字サイズも大きくしました！葬儀の日程などの情報がより分かりやすくなります。

広告料金は2段組サイズの料金そのまま!!

釧新　太郎さん（せんしん・たろう）○日死去、○歳、黒金町7の3通○日午後6時斎○日午前9時、○の釧新会館園○さん。廻○○○さん。釧路市生まれ。○○年に○○○に勤務。○○○